

## 第 11 回大和郡山病院 地域協議会

開催日時 令和 3 年 3 月 18 日（木）14：00～15：40

場 所 大和郡山病院 3 階講義室

議 題 1 活動状況報告

2 意見交換会

出席者 外部委員

大和郡山市医師会長 松本光弘、大和郡山市歯科医師会長 大野忠彦、  
大和郡山市薬剤師会長 倉岡伸次、大和郡山市地域包括ケア推進課 本間亜矢、  
大和郡山市医師会訪問看護ステーションやすらぎ管理者 増井香里、  
患者・患者家族代表 野田和世

院内委員

院長 松村正彦、副院長 北大路正顕、副院長（兼）地域医療連携室長 松下光伸  
事務部長 白倉直樹、看護部長 久門容子、副看護部長 福永直美  
訪問看護ステーション看護師長 諸越真理子、主任医療社会事業専門員 砂原直美  
総務企画課長 前田昌宏、経理課長 米田秀道

（順不同、敬称略）

### ・開催の挨拶（松村院長）

今年度は、コロナで振り回された 1 年になりました。今年 1 月から県の要請を受けてコロナ患者の入院を受け入れているところです。感染対策に十分に気を付けて、この会場も空気清浄機を設置して運営しているところです。

本日は、活動状況報告を「JCHO 大和郡山病院の外科治療について」を統括診療部長 中山裕行と、「当院における心不全治療の取り組み」を循環器内科医師 辻村朗に報告してもらいます。

当院は、皆様のご支援をいただき病院運営をしております。病院への忌憚のないご意見をいただき、当院を皆様から信頼のいただける病院として、さらに発展させ、今後の病院運営に活かしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### ・委員の紹介

### ・議題

活動状況報告

統括診療部長（外科） 中山 裕行 「JCHO 大和郡山病院の外科治療について」  
循環器内科医師 辻村 朗 「当院における心不全治療の取り組み」

### ・意見交換会

松本医師会長

・開腹手術の方が良いか、腹腔鏡下手術の方が良いかとの判断はどこで見分けるか。

→ 腹腔鏡下手術は傷跡も目立ちにくく、出血が非常に少なく患者には低侵襲な手術です。ただ、症例によって手術の制限がある。胃の手術では、リンパ節転移が著しい場合は開腹手術が主である。複数回の腹部手術症例では癒着もあり、腹腔鏡手術が困難となる場合が多いが、婦人科手術後の症例は癒着が少なく腹腔鏡手術の選択になる。本院では悪性、良性疾患でも積極的に腹腔鏡下手術を進めている。

・化学療法で免疫療法は施行されているのか。

→ 昨年度より外科と泌尿器科で相談して、本院でも使用できるように取り揃え、適応患者に使

用させていただきます。

- 血液中 BNP 数値の判断はどの程度で心不全と位置付けられるのか。
- BNP は肥満や腎機能などによって値が影響を受けるため、高いからといって必ずしも心不全の診断にはならないが、基準値以下だと心不全の可能性は低くなります。初診では判断しにくい。数値が 400、500 であれば心不全の治療は間違いなく行う。

大野歯科医師会長

- 奈良県歯科医師会を通じてこれからも協力していきたい。
- 高齢者の抜歯には注意を払って治療しているが、出血に対してどのようにすればよいか。
- 出血が止まらないなら、凝固因子の問題があるかも。血圧が高いと出血は止まりにくい。
- エンゼルケアで入れ歯をはめるときの注意に何かあるか。
- 家族の希望があれば死後硬直もあるので 1 時間以内ならはめられる。

倉岡薬剤師会長

- 免疫療法（オプジーボ等）を使用している場合は、いつまで使用しなければならないか。
- 効果があれば続ける価値はある。1 年、2 年続ければ少しずつ減らしても良いと思う。ただ、これについては、いつまで続けるのかガイドラインが無いので何とも言えない。
- 心不全と言われるステージはどこから病名が付くのか。
- ステージ A から D の 4 段階があるが心不全症候があればステージ C 以上で心不全と見てよい。

本間大和郡山市地域包括ケア推進課

- 日頃は在宅医療に貢献していただきありがたい。

増井訪問看護ステーションやすらぎ管理者

- 五苓散漢方を飲んでいる患者がいるが、飲みにくいのか。服薬指導はどうするのか。
- 五苓散は、飲みやすく苦くない方である。漢方は元々煎じ薬なのでお湯に溶かして飲んでもらっている。しかし、オブラートに包んで飲むのはやめて頂きたい。市販の飲み物ネスレ「ミロ」に溶かして飲んで構わない。漢方で飲んだ時に甘く感じたときは、症状に合っていると思って頂いてよい。

野田患者・患者家族代表

- 以前に手術をしていただいた時に術後の経過が良好でありがたく今でも思っている。安心して住める地域である事をうれしく思う。

松本医師会長

- コロナで大変な状況の中、患者数は減ってきたがまた微増してきている。ワクチンも限られているにもかかわらず変異株も出てきている。医師会と協力して、地域の安心、健康でなければいけないと思っている。これからも地域の病院としてよろしくお願ひしたい。

閉会の挨拶（北大路副院長）

地域協議会にお忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。

今日頂きましたご意見は参考にさせて頂きまして、地域医療の充実に貢献いたします。



以上